

岩沼市に新倉庫

今夏完成 高床式&BCP対応

協和運輸倉庫

【宮城】協和運輸倉庫(高

橋大輔社長、仙台市宮城野区)は宮城県岩沼市に新倉庫を建設する。顧客ニーズに対応するための営業倉庫

する予定。

名称は「岩沼物流倉庫(仮称)」。仙台空港に隣接する矢野目西産業用地内に大型普通倉庫を開設。敷地面

で、既に、2019年11月に着工しており、20年7月に完成

積が1万8770平方メートル。鉄骨造り平屋建てで、床面積は9140平方メートル。倉庫は高床式で、BCP(事業継続計画)に対応した施設となる。同産業用地は、岩沼市が分譲する用地で、総面積が

17.7畧となっている。仙台市の中心部から南方17キロに位置し、仙台空港や仙台東部道路、国道4号、同6号、更には地方主要道から仙台港にもつながるなど物流拠点としては好立地。分譲する8区画のうち、協和運輸倉庫を含め、物流企業3社が売買契約を結んでいる。高橋社長は「顧客に物流効率化を提案するとともに、雇用を通して地域社会にも貢献したい」としている。(黒田秀男)